

本大会に於て最も重要視せられたのは、議案第一号に
掲げられた「革新同盟」中央委員会の除名処分討策の件に
ある。革新同盟が茲に大会を開いたのは、正に此の問
題に對する態度を確定せんが爲りである。故にたとへ
ば、革新同盟が於ては、断然分離して新団体組織を
築き、幹部を解か既在にして居たと云へば、之を革新
同盟参加組合本部に諮うたと云ふ果して異論を百出す
る。然しやは、幹部自身と氣も疑ふべき能はず。所であ
る。然るに、此の予想は、全然裏切られて、一人の反対者
を除く、残骸を晒したる。然るに、意々たり、必粟出さず
の。下ある。然して、進んで新組織を作らばと云ふ議論
より、議長は更に組合の名籍を如何に附すべきやと一
同に諮り、遂に日本労働組合評議会と云ふ名称を附す
る事に決定し、これに依つて日本労働同盟革新同盟
大会は、化して日本労働組合評議会創立大会にあらた
顧みれば、三月下旬、日本労働同盟十四年度大会に紛

擾の端を開き、革新を叫ぶこと、茲に二月、遂に分離の
毛むおきに至つたのである。
此処に於て日本労働同盟の分裂と日本労働組合評
議会の創立なる声明書が公にせられた。其の概要は即
ち左の通りである。日本に於ける組合運動の中心勢力
と目せられ、その指導的精神を代表した日本労働同盟
盟は、少数組合官僚の分裂政策のため、今や事実上壊
滅したものである。――資本の攻勢と反動主義の勃興
に當面するや、忽ち階級闘争の主張を棄て、ブルジョア
と官吏と我が代りに方向轉換の精神を曲解して、現実
立脚の美名の下に、労働階級を棄らんとして、旧日
本労働同盟は、今や事実上、上に壊滅した。日本労働組
合評議会は、その序壇の上に建てられた。新たな組織で
あり、労働階級の新たな牙城である。――吾々の運動は
最早、旧総同盟の内訌にあつて、旧総同盟を救はんとい
ふ運動であらう。具体的政策の上、旧総同盟を積極的